

令和5年度 施設関係者評価

評価基準 (A:よくできている B:概ねできている C:あまりできていない D:できていない)

大項目	中項目	評価指標	園説明	自己評価	施設関係者評価	施設関係者評価者から	改善策(来年度に向けて)
1 教育・保育目標	(1)心身ともに健康で元気に遊ぶ子ども	やりたいたいことに向かって心と体を十分に働かせているか	○園児は年間を通して、季節に応じた自然に触れている。園庭には様々な樹木や草花があり、これらに虫等がやってくる。 ○幼児は、委託した講師の指導を受けて、体育・英語・絵画等を楽しんでいる。 ○保育者が見守る中、屋内外それぞれの環境の中で様々な体験を積み、自律的・意欲的に活動をしている。	A	A	○体育講師の考えた様々な運動遊びにより、園児が飽きることなく体を動かしている。 ○保育者が複数の目で園児を見守ることで、安全に遊んでいる。 ○コロナ禍が過ぎ、地域やお年寄りとの交流が増えたことはいいことだと感じている。 ○行事を通じて1つの事をやり遂げる達成感を得ていると感じる。専門の講師を活用することで、よりよい行事になっている。	○園児が意欲を持って体を動かすことができる環境を作り、安心して活動できるよう日々改善していく。 ○園児との信頼関係の下、安心して自分を表現できるよう過ごせるようにする。
	(2)心豊かで思いやりのある子ども	様々な人と関わりを持ち、自分の思いや要求を言葉や態度で安心して表現しているか	○毎月1回の異年齢交流により、様々な人との関わりを持つことができた。自分の思いや考えを言葉や態度に表し行動している。 ○保育者は、園児との信頼関係を築くため、愛情をもって欲求や気持ちを受け止めている。 ○コロナ禍でできていなかった、地域・お年寄りとの関わりを増やしていくことができた。	A	A		
	(3)自分で考え行動する子ども	○身近な環境に主体的に関り、活動を楽しんでいるか ○あきらめずにやり遂げようとしているか ○自信をもって行動しているか	○保育の環境設定に日々工夫を凝らし、身近な環境に主体的にかかわることができるようにしている。 ○1つの事をやり遂げる達成感を味わうことが出来るように保育者が援助し、発表会や作品展等を通して自信を持つ機会を多くしている。	A	A		
2 安全管理・指導	事故防止・防災	○定期的に安全点検や避難訓練等の危機管理意識を持ち、全職員が安全な対策をとれるよう努めているか ○出欠管理、人数確認の徹底がなされているか	○毎日の遊具点検、毎月の避難訓練、園内研修等により防犯・防災研修、交通安全指導等を行っている。また、園児には、紙芝居や絵本、素話を媒介として、年齢に応じた防災教育を行っている。 ○アレルギーの誤飲・誤食を避ける為、保育者と給食職員で連携をとっている。 ○出欠管理システムを導入したことで、出欠確認、人数確認を適切に行うことができた。また、連絡なく出席していない園児には、電話で確認をしている。 ○不適切な保育がないよう研修を行い、管理職の保育室への巡回を行っている。また、職員の事務作業の負担軽減のため作成書類の量を減らし、パソコンの量を増やした。休暇取得の促進等の働き方改革を行っている。	A	A	○毎日の点検や毎月の訓練の重要性を再認識し継続して頂きたい。 ○アレルギー対応は、職員間の連携が取れておりきちんと対応している。 ○園庭から園内に入る時などにも人数を確認している様子が見られた。決まっていることを確実に行事の無いようにして頂きたい。 ○不適切な保育が発生することがないよう、研修等できることを確実に行って頂きたい。	○日々の点検や訓練を確実に行う。 ○園内での事故報告、ヒヤリハット報告、他園での事故事例の検討を行っている。 ○人数把握を徹底する等して、置き去りや事故のないようにする。
		○健康管理指導を行っているか ○園児への健康教育を行っているか	○コロナ禍での経験を活かし、感染症対策を徹底していく。 ○看護師が、園内で流行している病気を把握し、その対策指導や保護者に対する情報提供を行っている。 ○園医による健康診断、看護師による与薬、視診検診検温を行っている。 ○園児には、絵本等を使い分かりやすく手洗いやうがい的重要性を伝えている。	A	A	○コロナ禍で経験した感染症対策は、コロナ以外の感染症にも役立つ。継続して対策して頂きたい。 ○園児に対する健康教育を継続して行って頂きたい。	○園児に対し、日々の生活の中で感染症対策の重要性について伝えていきたい。 ○看護師の専門性を生かし、保護者に対して適切に情報提供を行っていく。
3 保健管理・指導	健康管理	○健康管理指導を行っているか ○園児への健康教育を行っているか	○地域子育て支援拠点事業は、コロナ禍が終わりイベントもたくさん行った。 ○母子の孤立が問題となる中、相談業務等の拠点事業の重要性はさらに増していくので、引き続き子育て支援をしていく。 ○月に数回イベントを行い、子供の成長を実感し、他の保護者と共感できる場を設けている。	A	A	○子育て支援センターは、地域の子育て世帯が集まり、交流できる貴重な場所である。色々な取組を行い親子が来やすい環境を作って頂きたい。 ○相談の内容も多岐に渡ると思う。保育教諭、看護師、栄養士等が相談に対応できる環境はいいと感じる。	○地域の子育て世帯が安心して施設を利用できるように、積極的に情報発信していきたい。
		チーム保育を行い、情報を互いに共有し合い、子ども理解や保育の進め方について周知、連携しているか	○月1回の職員会議の他、毎日の昼礼や園内研修で情報共有や保育の統一を図った。また、各種研修結果を職員会議で発表することで、学んだことを共有している。	A	A	職員会議や昼礼等を通じ、情報共有ができていたと感じた。今後も職員間の連携を高めて頂きたい。	退職者がいる中で、経験の少ない職員にとっても会議の重要性が増している。適切な情報提供ができるようにする。
4 特別保育	子育て支援センター	保護者が子育ての喜びを感じられるように支援できているか	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。	A	A	研修の機会も増えてきたようでとてもいいことだと感じた。	保育の専門性を高めることができるように、職員がより積極的に研修に参加できる環境を整備する。
		子どもの興味関心に寄り添いながら、自ら「やりたい」と主体的に活動できる環境を作っているか	○子どもの興味関心を把握すること、各園児の興味に沿った環境を作ることを努力していく必要がある。 ○本の種類や数を多く配置し、興味のある本をすぐ手に取れる環境づくりをした。本の更新や見直しをすることができた。また、遊具や玩具の手入れや整備を行った。	A	A	○図書室、各クラスに絵本がおかれており、絵本に触れ合う環境が整備されている。 ○子どもの興味はそれぞれ違うので、大変だと思う工夫して頂きたい。	子どもが主体的に活動できる環境を提供していく。
5 組織運営	組織体制の充実	遊びや生活の様子の情報発信を行い、子どもの成長の喜びを共有できる環境作りを努めているか	○園児の普段の生活を動画配信することで、子どもの成長の喜びをより分かりやすく、共有することができている。 ○動画やHPの更新がなくなりました。 ○保護者参加型の行事が増え、子供の成長の喜びを共有できた。 ○希望による保護者への個人面談は、引き続き丁寧に行なった。	B	B	○情報発信の方法も色々な方法が出てきている。より効果的な情報発信ができるよう工夫して頂きたい。 ○保護者との交流が増えたことはいいことで、今までよりさらに家庭との連携をとって頂きたい。	子どもの成長を共有するため、様々な取組を工夫して行っていく。
		近隣の学校との連携の推進	○8月の異年齢交流で、近隣の小学生と交流の場を持つことができた。 ○近隣小学校の教諭が校長以下3人、公開保育参観会へ参加して頂いた。 ○近隣小学校の公開授業に年長児クラスの保育教諭が参加した。小学校での生活の様子を確認したことで、小学校への接続を見通す生活を意識することができた。	A	A	○近隣の小学校との交流により、年長児が小学校への見通しが立つ。小学校が公開授業に招待してくれる等のいい関係が築けていると感じた。 ○園児も職員も小学校と交流ができていた。これを継続して連携を推進して頂きたい。	○小学校との交流により、子どもの見通しと職員の交流を継続していく。
6 研修	研修体制の充実	内外の研修後、自分の保育に活かしているか	○子どもの興味関心を把握すること、各園児の興味に沿った環境を作ることを努力していく必要がある。 ○本の種類や数を多く配置し、興味のある本をすぐ手に取れる環境づくりをした。本の更新や見直しをすることができた。また、遊具や玩具の手入れや整備を行った。	A	A	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。
		子どもが主体的に活動できる環境を作っているか	○子どもの興味関心を把握すること、各園児の興味に沿った環境を作ることを努力していく必要がある。 ○本の種類や数を多く配置し、興味のある本をすぐ手に取れる環境づくりをした。本の更新や見直しをすることができた。また、遊具や玩具の手入れや整備を行った。	A	A	○図書室、各クラスに絵本がおかれており、絵本に触れ合う環境が整備されている。 ○子どもの興味はそれぞれ違うので、大変だと思う工夫して頂きたい。	子どもが主体的に活動できる環境を提供していく。
7 教育・保育環境整備	教育・保育環境の充実	遊びや生活の様子の情報発信を行い、子どもの成長の喜びを共有できる環境作りを努めているか	○子どもの興味関心を把握すること、各園児の興味に沿った環境を作ることを努力していく必要がある。 ○本の種類や数を多く配置し、興味のある本をすぐ手に取れる環境づくりをした。本の更新や見直しをすることができた。また、遊具や玩具の手入れや整備を行った。	A	A	○図書室、各クラスに絵本がおかれており、絵本に触れ合う環境が整備されている。 ○子どもの興味はそれぞれ違うので、大変だと思う工夫して頂きたい。	子どもが主体的に活動できる環境を提供していく。
		近隣の学校との連携の推進	○8月の異年齢交流で、近隣の小学生と交流の場を持つことができた。 ○近隣小学校の教諭が校長以下3人、公開保育参観会へ参加して頂いた。 ○近隣小学校の公開授業に年長児クラスの保育教諭が参加した。小学校での生活の様子を確認したことで、小学校への接続を見通す生活を意識することができた。	A	A	○近隣の小学校との交流により、年長児が小学校への見通しが立つ。小学校が公開授業に招待してくれる等のいい関係が築けていると感じた。 ○園児も職員も小学校と交流ができていた。これを継続して連携を推進して頂きたい。	○小学校との交流により、子どもの見通しと職員の交流を継続していく。
8 家庭との連携・協力	家庭教育への支援機能の充実	遊びや生活の様子の情報発信を行い、子どもの成長の喜びを共有できる環境作りを努めているか	○子どもの興味関心を把握すること、各園児の興味に沿った環境を作ることを努力していく必要がある。 ○本の種類や数を多く配置し、興味のある本をすぐ手に取れる環境づくりをした。本の更新や見直しをすることができた。また、遊具や玩具の手入れや整備を行った。	A	A	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。
		近隣の学校との連携の推進	○8月の異年齢交流で、近隣の小学生と交流の場を持つことができた。 ○近隣小学校の教諭が校長以下3人、公開保育参観会へ参加して頂いた。 ○近隣小学校の公開授業に年長児クラスの保育教諭が参加した。小学校での生活の様子を確認したことで、小学校への接続を見通す生活を意識することができた。	A	A	○近隣の小学校との交流により、年長児が小学校への見通しが立つ。小学校が公開授業に招待してくれる等のいい関係が築けていると感じた。 ○園児も職員も小学校と交流ができていた。これを継続して連携を推進して頂きたい。	○小学校との交流により、子どもの見通しと職員の交流を継続していく。
9 近隣の学校との連携	近隣の学校との連携の推進	近隣の学校との交流の場を作り、親しみを持って交流できる場や機会を持っているか	○子どもの興味関心を把握すること、各園児の興味に沿った環境を作ることを努力していく必要がある。 ○本の種類や数を多く配置し、興味のある本をすぐ手に取れる環境づくりをした。本の更新や見直しをすることができた。また、遊具や玩具の手入れや整備を行った。	A	A	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。
		近隣の学校との交流の場を作り、親しみを持って交流できる場や機会を持っているか	○子どもの興味関心を把握すること、各園児の興味に沿った環境を作ることを努力していく必要がある。 ○本の種類や数を多く配置し、興味のある本をすぐ手に取れる環境づくりをした。本の更新や見直しをすることができた。また、遊具や玩具の手入れや整備を行った。	A	A	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。
10 地域との連携	信頼される園づくりの推進	地域の方との触れ合いの場を作り、親しみを持って交流できる場や機会を作っているか	○子どもの興味関心を把握すること、各園児の興味に沿った環境を作ることを努力していく必要がある。 ○本の種類や数を多く配置し、興味のある本をすぐ手に取れる環境づくりをした。本の更新や見直しをすることができた。また、遊具や玩具の手入れや整備を行った。	A	A	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。
		地域の方やお年寄り等と交流の機会を増えた。地域の方や園児の祖父母に行事を観覧して頂いたりすることができた。 ○地域のボランティアグループには、散歩、ミカン狩り、竹の子狩り等にご協力頂き交流することができた。	○コロナ禍が終わり、地域の方が行事に参加して頂けるようになった。これまで通り地域との関係を大事にして頂きたい。 ○地域との連携を促進し、信頼される園づくりを推進して頂きたい。	A	A	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。	○外部の研修は、対面の形式で他園との交流の機会が増えた。また、引き続きリモートでの研修の機会も行うことができた。これにより、研修の機会を確実に確保することができた。 ○研修報告をすることで、受講した保育者が研修を振り返る機会となっている。